

施策	5401 文化芸術活動の推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	文化会館における指定管理者制度の導入、文化施設等の修繕・充実、文化祭等の文化活動の推進等を図る。							
成果指標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体)  平成26年度の岩舟合併により指標1を変更							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [人]	予定	241,000.00	270,000.00	271,000.00	272,000.00	273,000.00	
		実績	235,476.00	268,020.00	298,020.00			
	成果指標2 [団体]	予定	312.00	390.00	393.00	396.00	400.00	
		実績	326.00	395.00	361.00			
		単位コスト	1,288.32	884.29	924.29			
	成果指標3 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 [ ]	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	403,476	353,030	330,585				
	実績	419,993	349,295	333,668				
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指数をH25の76%から目標値80%に向上させるには、魅力ある文化会館自主事業や美術館企画が必要であるため本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	文化会館及び美術館の事業が好評であったため、目標達成に至った。文化祭参加団体数は、隔年で参加している団体や文化団体数減少の影響により未達成となった。						
	課題	文化祭参加団体数及び各地域文化協会・文化団体連絡協議会加盟団体数を増加させるため、活動支援や情報発信の強化を図り、文化の振興を推進していく必要がある。						
	取組方針	文化団体の活動を発信するため、市全体の組織である栃木市文化活動協議会の広報紙を作成することで、PRの強化を図り加盟団体数の増加を図りたい。						
外 部 評 価	文化会館等年間入場者数は堅調に推移しており評価に値する。文化会館事業の内容を評価する声も聞かれており、担当課の努力を大いに評価したい。更なる内容の充実と広報強化に尽力されたい。 市の文化振興に対する取組みが、成果として表れてきたと思われるが、文化祭参加団体数の目標を達成するには、一部の市民だけでなく市民全般に浸透するような工夫も必要だと考えられる。 今後は、施設の再編に併せた、修繕や改修が課題になるとと思われるが、再編計画に併せて計画的な取組みを期待したい。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	570101	ふるさと文化振興基金積立金				14,303	100	
	570301	文化課一般経常事務費				4,093	100	
	572101	とちぎ蔵の街美術館特別企画展等開催事業費				12,777	100	
	572201	とちぎ蔵の街美術館作品収集事業費				3,689	100	
	572301	とちぎ蔵の街美術館運営費				20,260	100	
	578301	栃木文化会館施設整備事業費				13,788	100	
	578401	文化会館管理運営委託事業費				150,448	100	
	712206	岩舟文化会館自主事業費				11,656	100	
	713401	歌麿の愛したまちとちぎ事業費				8,134	100	
720001	「深川の雪」高精細複製画製作事業費				11,250	100		



平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	5401 文化芸術活動の推進		
区分	妥当性	妥当	文化芸術活動の推進を図ることにおいて、市民を対象とし、目的等も妥当である。
	コスト削減の余地	無	管理運営委託費などは義務・経常的なものであり、政策事業においても、目標達成においては削減は難しい。
	受益者負担	適正	施設利用者には妥当な受益者負担を求めており、適正である。
	上位貢献度	有効	魅力ある文化会館の自主事業や美術館の企画が必要なことから貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	他に類する事業で代替は困難である。
	成果向上の余地	有	文化会館の自主事業及び美術館の企画等の内容や、団体への活動支援方法について検討の余地がある。
内部評価	貢献度	上位施策である「文化芸術活動等の参加者満足度」を向上させるためには、文化会館自主事業や美術館の企画展を魅力あるものにすることが必要であり、本単位施策内の個々の事務事業の貢献度は高いと判断した。	
	達成状況	文化会館等年間入場者数については、文化会館の自主事業及び美術館の春の特別企画展“中原淳一展”の事業が好評であったため、目標達成に至った。文化祭参加団体数は、隔年で参加している団体や、会員数減少により退会する団体があったことによる影響もあり未達成となった。 ※文化祭は、各種文化協会・文化団体連絡協議会加盟団体が参加可能	
	課題	文化祭参加団体数及び各地域文化協会・文化団体連絡協議会加盟団体数を増加させるためには、助言などによる活動支援や情報発信を強化することによる周知を図ることが必要である。また、アンケート集計結果を活かし、魅力ある文化会館の自主事業や美術館の企画展を継続的に検討・実施していく必要がある。	
	取組方針	文化祭参加団体数や加盟団体数を増やすため、市全体の組織である栃木市文化活動協議会の広報紙の作成や、FMくららを活用し、文化祭の情報や文化団体の活動を発信することにより、PRの強化を図り加盟団体数の増加を支援していく。	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100404	予算事業コード	570401	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	文化補助金										主	5401	文化の振興		文化芸術活動の推進		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 文化課 文化振興係						担当者	木嶋文子				従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H17 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	99,196	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市の文化活動を推進するため、文化団体等に補助金を交付する。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 補助金を交付することにより、文化団体等の活動を活性化する。					
	成果目標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容 その成果			事業の事後評価						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度 <b>【事業の内容】</b> 市並びに地域文化の振興に資するため、文化団体等に下記の補助金を支出する。 文化財山車保存会補助金 山本有三ふるさと記念館運営補助金 文化活動協議会補助金 <b>【成果】</b> 山本有三ふるさと記念館の運営を補助することにより山本有三の顕彰を図ったほか、文化財の保護、文化団体の活動(文化祭等)を支援することができた。			平成27年度					
	県支出金	0	0				<b>【事業の内容】</b> 市並びに地域文化の振興に資するため、文化団体等に下記の補助金を支出する。 山本有三ふるさと記念館運営補助金 文化活動協議会補助金 <b>【成果】</b> 山本有三ふるさと記念館の運営を補助することにより山本有三の顕彰を図ったほか、文化団体の活動(文化祭等)を支援することができた。					
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	7,144	6,584									
	事業費 a	7,144	6,584									
	人件費 b	1,875	1,875									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	9,019	8,459	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	354.00	400.00	市文化祭等参加団体数	市文化祭等参加団体数 H27目標数値：400団体	団体	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2	18.00	2.00	補助金交付団体数	補助金交付団体数 H27目標数値：2団体	団体	妥当	無	適正	有効	無	有	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 市文化祭等の文化活動や伝統芸能等の保存活動を支援し、地域文化の振興に資するため、補助金を交付し、文化団体等の活動の活性化を図る。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100404	予算事業コード	572301	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	とちぎ蔵の街美術館運営費										主	5401	文化の振興	文化芸術活動の推進		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 文化課 美術館係					担当者	金子 佳世子		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等								事業期間	H 2 6 ~ H 3 2 年度		全体事業費 (人件費除)	138,257	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・とちぎ蔵の街美術館運営協議会を開催する。 ・栃木市美術資料等評価委員会を開催する。 ・市収蔵品の適正な管理を努める。 ・展示品監視ボランティア参加人数の増加に努める。 【主要事業】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・とちぎ蔵の街美術館の適正な運営に努める。							
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		成果 施策 目標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更										
事業費・ 指標の 推移	国庫支出金		0	0	事業の 内容 その 成果	平成26年度					平成27年度					
	県支出金		0	0		・とちぎ蔵の街美術館運営協議会の開催 ・栃木市美術資料選考評価委員会の開催 ・市収蔵品の適正な管理					【事業の内容】 ・美術館運営協議会を年2回開催 ・市美術資料選考評価委員会を年2回開催 ・市収蔵品の適正な管理に努めた。 ・展示品監視ボランティア参加人数の増加に努めた。 【成果】 ・美術資料選考評価委員会を年2回開催し、 市ゆかりの美術工芸家の優品8点の寄附を受け入れ、清水登之及び喜多川歌麿の作品各1 点を適正な価格で購入した。					
	地方債		0	0												
	その他特財		12,702	11,988												
	一般財源		5,833	6,022												
	事業費 a		18,535	18,010												
	人件費 b		2,250	2,250												
減価償却費 c		0	0													
総事業費 a + b + c		20,785	20,260	指標名	算出方法			単位	事業 の 事後 評価	妥当性	コスト 削減の 余地	受益者 負担	上位 貢献度	類似事業 の有無	成果向上 の余地	
結果指標 1		5.00	4.00	収蔵品活用回数	収蔵品活用回数(貸出し含む)(年/回) H27目標数値:4回			回		妥当	無	適正	有効	無	無	
結果指標 2		898.00	1,010.00	ボランティア参加数	ボランティア参加人数(人) H27目標数値:1000人			人								
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・とちぎ蔵の街美術館運営協議会を年2回開催した。 ・栃木市美術資料等評価委員会を2回開催し、市ゆかりの美術工芸家の優品8点の寄附を受け入れ、清水登之及び喜多川歌麿の作品各1点を購入した。 ・市収蔵品の適正な管理に努めた ・展示品監視ボランティア参加人数の増加に努めた。															
事後評価備考																

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100405	予算事業コード	578401	事業区分	03	義務的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策												
事業名	文化会館管理運営委託事業費										主	5401	文化の振興			文化芸術活動の推進											
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 文化課 文化振興係						担当者	木嶋文子				従															
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H 2 1 ~ H 3 2 年度		全体事業費 (人件費除)	1,129,745 千円											
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木、大平、藤岡、都賀の文化会館に指定管理者制度を導入し、管理運営委託料を支出 ・施設の利用に関する業務 ・施設設備の維持管理及び補修に関する業務 ・会館全般の管理運営に関する業務 ・会館自主事業に関する業務 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・文化会館の管理運営の円滑な執行 ・施設利用の改善 ・施設設備の効率的な維持管理 ・事務効率の改善 ・自主事業の円滑な実施															
	成果目標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更																									
単位：千円、人	平成26年度決算額		平成27年度決算見込		事業の内容 その成果																						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	県支出金														0	0	地方債	0	0	その他特財	19,870	6,640	一般財源	130,937
結果指標 1	232,786.00	233,000.00	利用者数	年間利用者数 H27目標数値：233,000人			人	事業の事後評価 妥当性 コスト削減の余地 受益者負担 上位貢献度 類似事業の有無 成果上の余地 妥当 無 適正 有効 無 無																			
結果指標 2	35.18	35.00	全会館稼働率	各会館稼働率の平均(稼働率=年間使用日数÷開館日数) H27目標数値：35%			%																				
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 平成26年度から栃木、大平、藤岡、都賀の文化会館に一括で指定管理者制度を導入し、管理運営業務を統一化したことによる利用者の利便性向上、経費節減による市財政負担の削減等を実施し、施設の効率的・効果的な運営を行う。																										
事後評価備考																											

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100405	予算事業コード	712106	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	岩舟文化会館管理運営費										主	5401	文化の振興		文化芸術活動の推進		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 文化課 文化振興係					担当者	木嶋文子					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市文化会館条例、文化芸術振興基本法							事業期間	H 2 6 ~ H 2 9 年度		全体事業費 (人件費除)	153,698	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・会館の管理運営(施設管理、舞台業務) ・施設整備の維持管理 ・自主事業業務 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 音楽ホールとしての特性を活かしながら、施設の理念や使命の実現に基づき、時代背景、利用者ニーズにあった業務を手掛けるとともに、質の高い住民サービスを提供し音楽文化の向上、管理運営の効率化など施設利用の活性化を図る。					
	成果目標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込										
事業費・指標の推移	国庫支出金			0								
	県支出金			0								
	地方債			0								
	その他特財	11,078		10,897								
	一般財源	19,169		28,209								
	事業費 a	30,247		39,106								
	人件費 b	5,000		5,000								
減価償却費 c				0								
総事業費 a+b+c	35,247			44,106								
結果指標 1	46.10			65.00								
結果指標 2	20,813.00			30,000.00								
		指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
		会館稼働率	平成27年度 稼働率 65.0%		%							
		利用者数	平成27年度 利用者数 30,000人		人							
妥当 無 適正 有効 無 有												

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 音楽ホールとしての特性を活かしながら、他館との差別化を図り、文化の振興を基盤に運営をしていく。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100405	予算事業コード	712206	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	岩舟文化会館自主事業費										主	5401	文化の振興		文化芸術活動の推進	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 文化課 文化振興係						担当者	木嶋文子				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市文化会館条例、文化芸術振興基本法				事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	25,827		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 自主事業の企画運営 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 文化情報の発信拠点、文化活動の拠点としての役割を認識し、鑑賞型、参加創造型、普及啓発・育成型などの事業を展開し、住民の芸術・文化の振興を図る。								
	成果 施策目標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容			事業の事後評価						
事業費・指標の推移	国庫支出金			平成26年度			平成27年度					
	県支出金		0	【事業の内容】			【事業の内容】					
	地方債		0	・森 麻季ソプラノリサイタル			・金子三勇士ピアノ・リサイタル ・森麻季					
	その他特財	4,152	4,000	・秋のしらべ 姜建華(二胡)演奏会			&福井敬デュオ・リサイタル ・千住真理子					
	一般財源	875	2,656	・TSUKEMEN LIVE 2015			ヴァイオリン・リサイタル					
	事業費 a	5,027	6,656	【成果】			【成果】					
	人件費 b	5,000	5,000	鑑賞事業を実施し、アンケート回収、集計を行った。			鑑賞事業を実施し、アンケート回収、集計を行った。					
減価償却費 c		0	事業の内容			事業の事後評価						
総事業費 a+b+c	10,027	11,656	指標名	算出方法		単位	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	3.00	3.00	自主事業数 3回	自主事業開催回数		回	妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	1,283.00	1,350.00	集客数 1,155人	自主事業入館者数		人						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・鑑賞型の事業を実施、数多くの来館者があり、市民への芸術・文化の振興を図ることができた。 ・来館者アンケート集計において、数多くの好評が得られたが、ボランティアスタッフの人員確保と育成に課題が残ったので、改善計画を立てていく必要がある。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--